

**理念に基づく3つの取り組み**  
 ~福祉を通じて明るく豊かな地域社会を~

|             |
|-------------|
| 逆デイサービス     |
| 実習内容の見直し    |
| 町民とのコミュニティー |

キーワードについては必ず3つ記入の事！！

社会福祉法人明和会 特別養護老人ホーム かおる園

|              |                       |
|--------------|-----------------------|
| 発表者<br>(研究者) | 本田 真奈美、滝元 大二朗 (河村 英寿) |
|--------------|-----------------------|

**施設の概要**

※ここに記載した内容のうち、発表内容に直接重要な関係を持たない事項については、本資料をもって発表の際の説明から省略してください。

|            |   |                   |                         |
|------------|---|-------------------|-------------------------|
| 設置主体       | 社会福祉法人  | 経営主体              | 社会福祉法人                  |
| 開設年月日      | 平成19年4月1日   | 所在市町村             | 新十津川町                   |
| 市町村人口      | 6780 人  | 65歳以上人口<br>(高齢化率) | 2603 人<br>(高齢化率 34.6 %) |
| 利用者定員数     | 100 人   | 利用者平均年齢           | 87 歳                    |
| 職員数        | 60 人  | 職員数内訳             | 介護職 44 名<br>看護職 7 名     |
| 併設施設・事業    | 短期入所生活介護、予防短期入所生活介護、通所介護、予防通所介護   |                   |                         |
| 施設のサービスの概要 | 高齢者が住み慣れた地域社会で暮らすための施設として、認知障害、身体な障害の有無にかかわらず、その人らしい、安心できる生活を支える。又、利用者一人一人の生活課題や身体状況に着目し、状態の維持または改善に繋がるサービスの提供。 |                   |                         |

**発表の概要**

|   |  |
|---|--|
| <p><b>①取り組んだ課題</b><br/>                 社会福祉法人明和会は、「福祉を通じて明るく豊かな地域社会を作ります」という基本理念のもと、事業展開をしています。平成26年、地域の方から使わなくなった民家(以下、上杉さんの家)を譲り受けました。この民家を利用して法人理念に基づいて以下の様な取り組みを行ってききました。</p> <p>①ご利用者が施設から離れて過ごせる場所づくり(逆デイサービス)<br/>                 ②介護の担い手をつくる為の実習内容の見直し<br/>                 ③地域と施設が協力し合えるコミュニティーづくり</p> <p><b>②具体的な取り組み</b></p> <p>①ご利用者が施設から離れて過ごせる場所づくり(逆デイサービス)<br/>                 ・上杉さんの家をご利用者様と職員が一緒に整備。<br/>                 →譲り受けた民家を職員で勝手に整備してしまうのではなく、ご利用者様と一緒に整備して一つの家を作り上げた。<br/>                 ・ご利用者様が役割を持って、過ごす事の出来る場所へ。<br/>                 →施設とは違い、それぞれのご利用者様が好きな事を好きな時に出来る場所として過ごして頂く。</p> <p>②介護の担い手をつくる為の実習内容の見直し<br/>                 ・認知症の方とのゆったりとしたマンツーマンでの関わり。<br/>                 →高校生や中学生はもちろん、介護実習に来た学生にとっても認知症の方とはどのように接したらいいのか、難しい。施設での慌ただしい雰囲気とは違い、マンツーマンでゆったりと関わることで認知症の方の事をよりよく知って頂く事が出来る。<br/>                 ・学生と職員が共に考え、楽しめる時間になる。<br/>                 →単純に介護の職員と一緒に業務の体験をして「大変さ」を知ってもらうのではなく、楽しく実習をすることで高齢者福祉の「楽しさ」を知ってもらう。</p> <p>③地域と施設が協力し合えるコミュニティーづくり<br/>                 ・上杉さんの家のお披露目会<br/>                 →上杉さんの家が出来あがる際に地域の方を交流会を行った。<br/>                 ・花月区と合同での避難訓練<br/>                 →施設の避難訓練に地域の方にも参加して頂き、交流を図ると共にもしの場合の協力体制について確認した。</p> | <p><b>③活動の成果と評価</b></p> <p>①ご利用者様が施設から離れて過ごせる場所づくり(逆デイサービス)<br/>                 ・ご利用者様の表情の変化<br/>                 ・具体的な効果と評価出来る記録を残す事が出来なかった。</p> <p>②介護の担い手をつくる為の実習内容の見直し<br/>                 ・体験だけでなく、認知症の方について知って頂く事や施設がどのような役割を持っているかを伝える機会になった。<br/>                 ・平成27年度新規採用職員(新卒)が8名、そのうち4名がかおる園で実習をしている職員。<br/>                 ③地域と施設が協力し合えるコミュニティーづくり<br/>                 ・地域の方が研修会に参加して頂く事が出来た。<br/>                 ・合同の避難訓練が実施でき、施設での避難の様子が見て頂く事が出来たり、炊き出しに参加して頂く事が出来た。</p> <p><b>④今後の課題</b></p> <p>①ご利用者様が在宅へ戻る為の具体的な事業計画。取り組みに対して、どのような効果や成果があったか評価が出来る記録やデータを残す。</p> <p>②福祉に興味を持ち、現場で働くことを目指す若い人をどのように増やし、広げていくか?</p> <p>③地域住民と施設が相互に協力しあえる関係作り。施設からの働きかけだけでなく、地域から提案して頂けるようになっていくためにはどうしていけばいいのか?</p> <p><b>⑤参考資料など</b></p> |
|---|--|

※「応募用紙」とともにメールにて【6月22日(月)】までにご提出ください→ roushikyo@dosyakyu.or.jp まで。